

デジタル時代の子育てを考えよう ～子どもとスマホ、大人とスマホ～

令和5年9月15日

村上市青少年健全育成市民会議

青少年育成関川村村民会議

一般財団法人インターネット協会 大久保 真紀

はじめに

- わたしたち大人は子どもたちにネットとうまく付き合っ欲しいと心から願っている
- ICT機器を使うことが目的ではない、あくまで手段である
- **地域で、家庭で、学校で、そして社会でデジタルウェルビーイングを目指す!**
デジタルウェルビーイングとは「**機器やテクノロジーを適切に使用し、心身ともに健康であること**」

<1 機器は道具である、何のために使うのか>

- 学校の端末も使うこと、持ち帰ることが目的ではない
- 子どもは端末で何をしたいのか 家庭でこの話がなされているか
→ 子どもたちはスマホを持つことが目的になっていないか
→ 目的から端末を選んでいるか

<2 子どもに端末を持たせる(使わせる)責任は保護者にある>

- 道路をあることと同じくらいネットを利用することは当たり前のこと
→ 歩く時、自転車に乗る時には交通ルールや気をつけることを教えたはず
→ 行ってもいい範囲、帰ってくる時間などの約束事もある ネットも同じ
- 「みんなが持っている」と子どもからせがまれ、与えるのは簡単だが、、、
→ いつから持たせるかだけが関心になっていないか
→ 持ったらどうなる? 現時点だけでなく、長いスパンを見通すことこそ重要
- 保護者は子どもにどのように付き合っていってほしいのか、おもいを伝える
- デジタルウェルビーイングのために
 - ✓ **機能制限** 青少年インターネット環境整備法 フィルタリングの活用
 - ✓ **リテラシ** インターネット環境整備法 子どもと話し合い利用ルールを決め見守る
 - ✓ **見守り!** 最初から小さい端末で子どもを見守ることができますか
子どもから相談された際、助けてあげる方法を把握しておく
- 利用の低年齢化 乳幼児の保護者向けの啓発も!
- いつ、どのように啓発していく?
 - ✓ 聞いて欲しい人が来ない問題→就学時検診、入学説明会
 - ✓ 親子で聞いてほしい→PTAの親子行事
 - ✓ 保幼少中、地域連携 →長期スパンでの啓発、縦横

<3 こどもたちへの啓発、授業のポイント>

- 大人の意識を押し付けない子どもの気持ちに寄り添う
→ 子どもはネットやゲームが好きであり肯定的に捉えている
- 広い視点で俯瞰的に
ネットとは? SNS、キャッシュレス決済、無料サービスなどの仕組みなど
- 経験していない脅威は伝わりにくい 実例を挙げ、何がいけないのか(法律、根拠)
 - ✓ こんなとき、みんなならどうする?
 - ✓ なんてこうなってしまったのか
 - ✓ 実際にこんなことあったけどなんでこうなったか
 - ✓ 実際にこんなことあったけど、何がいけなかったのか
 - 不正アクセス禁止法
 - 電子計算機損壊等業務妨害罪
 - 威力業務妨害
 - 侮辱罪、名誉毀損(厳罰化)
 - 著作権、肖像権
 - 児童ポルノ禁止法
 - 未成年者誘拐
 - 性的姿態撮影等処罰法(7月13日施行)など
- どのようなことをどのタイミングで啓発する?
文部科学省「教育の情報化に関する手引」について
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00117.html
- すぐ使える教材
 - ◇ 新潟県いじめ対策ポータル 教員向けの資料(小中高等学校)
<https://www.ijimetaisaku.pref.niigata.lg.jp/download/kyoin.html>
- どんな事例がある?
 - ◇ インターネットホットライン連絡協議会 子ども関連ニュース
<https://www.iajapan.org/hotline/inews/c-inews.html>
- 困ったときにどう行動するといいいのかを大人も子どもも把握
 - ✓ 自分だけで溜め込まない できるだけ早く近くの大人に相談
 - ✓ 起きたことを写メなどで証拠に残す
 - ✓ 大人は相談先、対応を予め把握
 - ✓ アカウント管理、問い合わせ先、ヘルプも平時に確認する
 - 法務省 インターネット上の書き込みなどに関する相談 通報窓口のご案内
<https://www.moj.go.jp/content/001335343.pdf>

<4 リアルがベース、情報機器は道具であり手段 >

- ゲームや動画以外に「も」楽しいこと、やりがいのあることは世の中にたくさんあることを子どもが実感していることが大切
- 情報社会だからこそ何に価値がある? ここ関川、村上で自分にしかできない経験!
- 自分のやりたいこと、夢を実現させるためにICTを上手く活用していく
子どもたちが持っている、能力や可能性をひろげる道具にしていく
→様々な体験経験をさせる、熱中したり、感動したり、夢中になったりがベース
- 大人のゲームネット利用は問題ないか 子どもは大人を見て育ちます

今の子どもたちにとって、子どもの未来にとって大切なことは何ですか?
子どもたちの将来に繋がる情報機器利用を大人が考えるきっかけに!

ご静聴ありがとうございました